

一般的にステンレス鋼材は、「さびない金属」と認識されがちですが、正しくは「錆びにくい金属」となります。使用環境にもよりますが、まれに錆が発生する場合があります。特に沿岸部・工業地帯・国道沿いなどの「風塵・ほこり」や「もらい錆」「塩害」などが発生しやすいエリア。万が一錆が発生したときは下記の手順で早めのお手入れをおすすめ致します。

錆が発生した場合

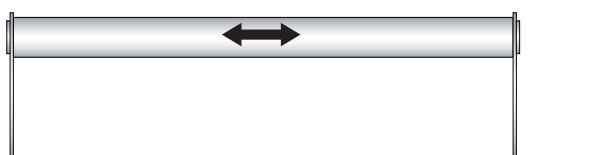
(定期的なお手入れにもOK)



頑固な錆の場合

ステンレスの目に沿って、研磨してください

外壁



最後に仕上げ

錆びが発生した場合は、そのまま何日も放っておかず、早い時期に錆の除去作業を行ってください。



クリームクリーナー

台所用・バス用
など、研磨剤入り
ならOK!

日用品店で手に入る、上記の様な「クリームクリーナー」(微粒子研磨材入りのクリーム洗浄剤)を使用して、ステンレスの目に沿って一定方向に繰り返し動かして、錆がとれるまで作業を行ってください。

クリームクリーナーと併用して、研磨材入りのたわし(スコッチブライト)などで、さらに研磨を進めてください。
(台所用のスポンジの硬い方で研磨します)



台所用スポンジ
(スコッチブライト)

フライパンなどを洗うときの
このようなスポンジ剤です。

最後に削り取った、錆びなどが残らないように 中性洗剤などできれいに拭き掃除を行い。から拭きすれば完了です。